

街が学校、学校が街 ～「生きる力」を育むコミュニティ・スクールの取組～

群馬県伊勢崎市

活動名

北小学校コミュニティ・
スクール学校運営協議会

関係する学校

北小学校

※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）

活動区分	コーディネーター	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
土曜日の教育活動							
学校支援地域本部	コーディネーター数	ボランティア登録数	開始年度	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	10人	232人	19年度	無	無	無	無
放課後子供教室	コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	国庫補助	学習支援	ICT活用	企業・NPOとの連携
	1人	38人	31日	有	有	無	無
コミュニティ・スクール	実施場所				開始年度	放課後児童クラブとの連携	
	会議室・体育館・広場など				23年度	連携型	
コミュニティ・スクール	指定日				委員数	児童生徒数	学級数
	平成20年4月1日				12人	467人	19学級

活動の概要・経緯

北小学校は、平成18年度に文科省コミュニティスクール調査研究校の指定を受け研究に取り組み、平成20年度に正式に学校運営委員会を設置してコミュニティ・スクールとなった。「街が学校、学校が街」を合い言葉に、「地域とともにある学校づくり」の推進を図ってきた。学校運営協議会は、基本方針として「会議室から教室へ」「授業参観から授業参加へ」を掲げ、常に児童の様子を身近に感じながら協議し学校運営に生かしている。特に、開かれた学校づくりとして学校支援ボランティアの活用に重点を置いて取り組んでいる。学校支援ボランティアの活用（平成26年度）については、読み聞かせ、放課後を活用した学習指導、生活科におけるまち探検の補助、体育のプール指導等、延べ8560人以上のボランティアが参加した。また、平成23年度から放課後に子供たちの安心・安全な居場所を設け、地域の方の参画を得て実施する放課後子供教室も行っている。毎回、前半は算数のプリント学習、後半は体験活動（シャボン玉で遊ぼう、紙飛行機を折るとばそう等）と、子供たちにとって有意義な学び・体験・交流などの活動を実施している。

特徴

【特徴的な活動内容】

- ・学校運営協議会の活動…本校の学校運営協議会は学校支援ボランティアの活用に重点を置いている。学校運営協議会委員が授業を参観したり、講師として授業に参加したりすることによって、学校や児童の様子を直接感じながら取組の成果を把握し、学校改善に生かしている。このように学校現場と学校運営協議会の距離を縮めていくことで、「地域とともにある学校づくり」を推進している。
- ・学校支援地域本部の活動…子供たちの「ほっと」（安心）を支え、「もっと」（意欲）に応え、「はっと」（発見）を引き出すという考え方を基盤に下校時安全パトロール、学習支援活動、学校行事支援等を行っている。また、いせさきまつりパレードのマーチングや地域めぐり等、児童が地域に出て行き、交流する活動にも積極的に取り組んでいる。
- ・安心・安全な居場所作り「放課後子供教室」…3年生を対象として、週1回1時間実施している。地域の方、保護者などで構成する指導員と大学生ボランティアで運営している。前半は「学習タイム」として算数のプリント学習、後半は遊びや文化にかかわる活動（シャボン玉で遊ぼう、紙飛行機を折るとばそう等）を行っている。

【実施に当たっての工夫】

- ・学校運営協議委員は校内を参観したり、特別講師として授業に参加したりするなど、児童との触れ合いを大事にしながら、協議を進めている。
- ・学校支援ボランティアの活用のために、活動の内容ごとにボランティアリーダーと担当職員を配置し、メールを活用して連絡・調整を行っている。
- ・「ボランティアルーム」が常時設置されており、ボランティアの方々の相談や待機に使われている。また、「ボランティアコーナー」の設置や情報交換会の開催、学校支援ボランティア広報誌「がくぼ」の発行等を通じ、活動の様子を発信し、理解と協力を得られるようにしている。
- ・学校と地域が相互交流できる場として、学校公開日「オープンデー」を活用し、学校支援ボランティアが入る授業の成果や課題について意見を出すようにしている。

事業を実施して

- ・学校運営協議会の活動を通して、①地域の教育力を生かした教育課程づくり、②子供と地域住民の交流を生かした学校づくり、③地域の意向を生かした学校運営の推進等が成果として上がっている。
- ・学校支援ボランティアの協力を得ることによって、授業の質の向上や安心・安全な学校づくりに大いに役立っている。また、児童が地域に出向く活動も行っているので地域と学校のつながりが深まっている。
- ・放課後子供教室は、保護者の目が届きにくい放課後の時間に、地域とともに子供たちを守り育てていくためのよい活動となっており、児童からは「前の日から明日が楽しみ」、保護者からは「家でやらせられない遊びや貴重な体験ができる」などの声が聞かれた。

その他

- ・学校支援地域本部では、学習支援ボランティアが図工や家庭科の実習や校外学習における体験学習をサポートしている。
- ・放課後子供教室では、前半の30分間に学校と連携し、学習進度に応じた算数の補習（プリント学習）を実施している。



学校運営協議会委員による授業



プールボランティアによる水泳安全指導